

## 【参考1】

かしょうびょう

# 火傷病菌とは

学名：*Erwinia amylovora*

英名：Fire blight

### 【分布】

韓国、イスラエル、トルコ、イタリア、英国、オランダ、ドイツ、フランス、エジプト、北米諸国、メキシコ、ニュージーランド等

### 【宿主植物】

りんご属、なし属、さんざし属、ななかまど属、かりん、びわ等

### 【病徴】

- ・感染すると、火にあぶられたような症状を示し、病斑が主幹を取り巻くことにより樹全体が枯れることもある。
- ・り病枝の先端は下方に湾曲して「羊飼いの杖」と呼ばれる特徴的な症状を示す。
- ・病斑から細菌泥が漏出し、ハチ等の昆虫や風雨によって伝搬される。また、り病した花の花粉が昆虫により健全な花に運ばれ、感染する場合もある。

### 【防除】

- ・火傷病菌を根絶できる有効な防除方法は確立されていないため、り病樹の伐採による防除が必要。
- ・韓国においては、2015年に初めて発生が確認され、公的な防除措置（感染地域のすべての宿主植物の廃棄、モニタリング調査等）が講じられているが、その後も発生地域が拡大している。

火傷病の詳細については農林水産省ホームページをご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/230830.html>

## 【参考 2】

### 1 火傷病菌が侵入した場合の産地における防疫措置について

県内に火傷病菌が侵入したことが確認された場合、植物防疫法に基づく緊急防除実施基準に即して、以下の対応を実施することが想定される。

- (1) 感染植物から半径 500 m 以内の地域において発生状況の調査を実施
- (2) 感染植物から半径 40 m 以内の地域における宿主植物の作付禁止
- (3) 発生状況の調査結果、地域の状況等を踏まえて、防除区域<sup>\*</sup>を設定し、当該区域からの宿主植物等の移動を制限
- (4) 防除区域内の宿主植物のうち、火傷病菌に感染又は感染のおそれがあるものを全て伐採・廃棄
- (5) 防除区域内における薬剤散布 等

※防除区域とは・・・植物防疫法に基づき、火傷病菌の緊急防除を行う区域として設定される区域

### 2 なし生産者への緊急調査結果（10月25日現在）

調査結果は、集計途中のため今後、変動する場合があります。

#### (1) 調査目的

なし生産者の園地状況及び花粉の利用実態等を把握するため調査を実施

(2) 調査対象者 県内なし生産者 1,061 戸

(3) 回答者数 913 戸（回答率 86%）

(4) 調査期間 9月13日～10月

#### (5) 結果概要

ア 中国産花粉購入者数<sup>\*</sup> 621 戸（68%）

※購入した生産者数及び割合であり、本県のなし生産面積に対する割合ではない

イ 購入量 114 kg

ウ 在庫量 23 kg

※在庫は、今後県を通じて国が買い取り廃棄する予定

【参考3】

1 千葉県の梨の全国的な位置付け（令和3年産）

千葉県の梨は、産出額・生産量・栽培面積全て全国順位で第1位となっています。

単位：億円、t、ha

区 分		都道府県別産出額の順位					全 国	千葉県 の順位
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位		
日本なし	県 名	千 葉	茨 城	栃 木	鳥 取	長 野		
	産出額	74	69	54	51	48	693	1 位
	生産量	20,500	19,100	15,900	11,100	12,000	184,700	1 位
	栽培面積	1,340	914	735	618	664	10,700	1 位

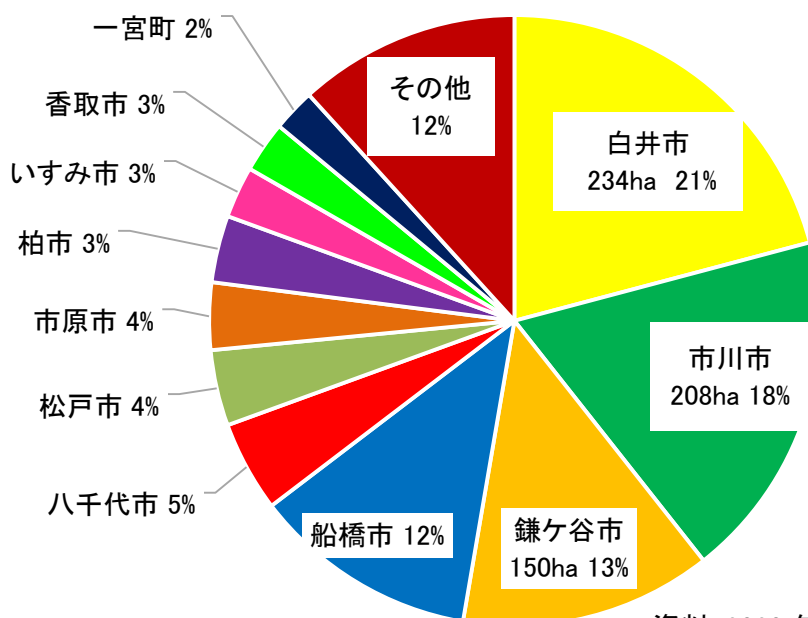
資料：令和3年産農林水産統計

2 千葉県における梨の市町村別栽培面積

市町村別では、白井市（234ha、県内比率21%）が最も多く、次いで市川市（208ha、18%）、鎌ヶ谷市（150ha、13%）となっています。

特に県北西部で栽培が盛んです。

市町村別梨栽培面積（日本なし露地栽培）



資料：2020年農林業センサス

※本県の日本なし栽培面積と市町村別栽培面積は統計が異なるため一致しません。